

目次

1. プロジェクト概要	1
2. 業務の実施体制	5
3. 研究成果報告	
地域連携減災研究（防災分野）	
3. 1 東日本大震災教訓活用研究	12
3. 1. ① アーカイブシステムの構築・利活用	14
3. 1. ② 震源域情報	33
3. 1. ③ 復興	37
3. 1. ④ 地震動	40
3. 1. ⑤ 被害	42
3. 1. ⑥ 強震動と津波の特性、生成メカニズムに関する評価	61
3. 2 地震・津波被害予測研究	69
3. 2. ① 津波被害予測	73
3. 2. ② 地震動	77
3. 2. ③ 地盤被害	85
3. 2. ④ 重要建物を想定した構造・内部空間の被災状況予測	96
3. 2. ⑤ ライフライン	104
3. 2. ⑥ 広域リスク評価	117
3. 2. ⑦ 都市災害と経済被害	127
3. 3 防災・減災対策研究	140
3. 4 災害対応・復旧復興研究	159
3. 4. ① 災害による地域への影響を把握するための「地域特性評価システム」の 高度化	160
3. 4. ② 関西地方における事前復興計画の策定	169
3. 4. ③ 静岡県における地域特性をふまえた事前復興のあり方の検討	172
3. 4. ④ 地震・津波被害の低減に向けた都市計画指針の策定とその検証	178
3. 5 防災・災害情報発信研究	182
3. 5. ① 南海トラフ広域地震災害情報プラットフォームの構築	184
3. 5. ② 防災・災害関連データの収集・整備、及び利活用システム開発開始と 人材育成・教育のための調査	211
3. 5. ③ DONET を用いたリアルタイム震源決定と統計情報の可視化	218
3. 5. ④ 住民の防災知識構造と社会構造に関する質的調査	237
巨大地震発生域調査観測研究（調査観測分野）	
3. 6 プレート・断層構造研究	253
3. 6. ① 海域におけるプレート・断層構造調査（南西諸島海溝地震発生帯モデルの構築、 南海トラフの拡大想定震源域上限の構造マッピング、拡大想定震源域下限および	

海洋プレート構造・物性の決定)	255
3. 6. ② 自然地震・構造探査を用いた構造解析	265
3. 7 海陸津波履歴研究	281
3. 7. ① 海域での津波履歴調査	283
3. 7. ② 陸域での津波履歴調査実施（四国～九州）とサンプルデータ解析	291
3. 7. ③ 陸域での津波履歴調査によるサンプルデータ解析 （駿河湾奥浮島ヶ原）	301
3. 7. ④ 富士川河口域における 1854 年安政東海地震の地殻変動と 断層位置の推定	304
3. 8 広帯域地震活動研究	309
3. 8. ① 南海トラフにおける準リアルタイム海底上下変動観測による スロースリップのモニタリング	311
3. 8. ② 南海トラフ西部の領域における広帯域自然地震観測	320
巨大地震発生域調査観測研究（シミュレーション分野）	
3. 9 データ活用予測研究	329
3. 9. ① 地殻変動データ整備および東北地方太平洋沖地震の余効変動解析	331
3. 9. ② 東北地方太平洋沖地震前後の地殻活動の特徴抽出	337
3. 9. ③ 予測システムの検証・予測試行実験	343
3. 9. ④ 余効すべり・過去のゆっくりすべり同化手法の開発	348
3. 10 震源モデル構築・シナリオ研究	362
3. 10. ① 日本列島粘弾性モデル構築とその応用	364
3. 10. ② 地震発生サイクル計算手法の高度化	369
3. 10. ③ 南海トラフ地震発生サイクルの再現・モデル検証	374
3. 10. ④ 地震発生シナリオ評価	381
3. 10. ⑤ 巨大地震の震源モデル及び地殻・地盤モデル開発	384
3. 10. ⑥ シミュレーションに基づく南海トラフ地震津波の検証・評価	393
3. 10. ⑦ 和歌山県沿岸における安政東海・南海地震の津波痕跡高の再評価	407
4. 全体成果概要	417
5. 成果の論文発表・口頭発表等	423
6. むすび	440
7. 運営委員会	
7. 1 活動報告	441
7. 2 運営委員会構成員	441